

How to polish with EZ system

EZシステム工程表

対象塗膜：国産・外資系3：1高機能性クリアー

○ペーパー目消し工程



EZ極細目プラス

+



RUPES LHR15 mark II・III

+



BREEZE バフ
BOA

#3000のペーパー目を置き換える工程です。BREEZEポアバフにEZコンパウンド極細目プラスを大豆程の大きさに4カ所付けて磨きます。研削レンジの広い極細目プラスがしっかりとペーパー目を置き換えます。

○バフ目消し工程



EZ極細目プラス

+



RUPES LHR15 mark II・III

+



BREEZE バフ
ブラック

ペーパー目消し工程でついたバフ目を消す工程です。BREEZEバフ ブラックにEZ極細目プラスを小豆程の大きさに4カ所付けて磨きます。ソリッドブラック以外の塗色でしたら殆どこの工程で仕上がりに向かいます。

○仕上げ工程（必要に応じて）



EZ超微粒子

+



ZERET RANDOM v2

or



RUPES LHR15 mark II・III

+



BREEZE バフ
ソフト

ソリッドブラックの作業の場合、または艶感を上げて仕上げたい場合の工程です。BREEZEバフ ソフトにEZ超微粒子を小豆程の大きさに4カ所つけて磨きます。3：1等のクリアーでしたらオービットの小さいランダムアクションポリッシャーとの組合せがお勧めですが2：1や硬度が高めのクリアーでしたらそのままEX610又はLHR15mark IIでの作業を推奨します。

シングルポリッシャーと比較して塗膜へ与えるダメージが少なく、発熱や深いバフ傷も入りにくいダブル・ランダムアクションポリッシャーとEZシステムを組み合わせた工程です。シングルポリッシャーでの作業時と同等の作業スピードを確保するためにランダムアクションポリッシャーは研削力が高い機種を使用します。またシングルポリッシャーよりも研削性が優くなるため、ペーパー目消し工程では毛足の長いポアバフを使用する事で発熱と深いバフ傷を予防し、ショートワールよりも含まれるコンパウンドのキャパシティが高いことを利用してコンパウンドを多めに使用して研削力を確保して磨きます。ポリッシュ作業前のペーパー目は#3000を推奨します。